

平成 28 年度 恵那市総合教育会議（第 1 回）

□日時 平成 29 年 2 月 21 日（火）11：00～11：55

□場所 恵那市役所西庁舎 4A 会議室

□次第

（進行：総合戦略・人口減少対策チーム政策推進監）

1. 開会
2. 市長あいさつ
3. 教育長あいさつ
4. 会議の公開について
5. 議題

（1）平成 29 年度予算における教育関連主要事業について【報告事項】

6. 閉会

□出席構成員 6 名

小坂 喬峰（市長）、大畑 雅幸（教育長）、井口 道雄（教育委員）、
西尾 修欣（教育委員）、村松 訓子（教育委員）、鎌田 基予子（教育委員）

□議事録

1. 開会

■事務局（進行） 平成 28 年度 第 1 回 恵那市総合教育会議を開催する。

2. 市長あいさつ

■市長 今朝早く出て明智振興事務所で朝礼に参加した後、岩村のころさんにお邪魔し、百歳の方のお祝いをした。男性だった。感動した。市長になってから百歳の方を回っているが全員女性だった。

今日は第 1 回総合教育会議だ。昨年 9 月 23 日に予定していたのを延期したということだ。平成 29 年度事業を協議いただく。

3. 教育長あいさつ

■教育長 教育委員は 9 時から定例会を終えて 10 分休憩し引き続きの会議だ。恵那市教育委員会の自慢は、一番は、教育委員が恵那市の小中学生、こども園の様子を、近隣のどの市よりもよく知っているということ。県内のいろいろなところで勤めた。教育長訪問に同行すると、来ているのは教育長、事務局だが、たまに自分の校区の教育委員が授業だけを見て帰るとというのが普通だ。ところが当市は、教育委員会訪問、発表会、市教委と学校との懇談会、中体連関係の試合、研究発表会、都合のつく限り出席いただき、子どもたちの様子をつぶさに承知してくれるのが慣例になっている。有り難い。

この先、私たちが抱える問題はものすごく大きい。子どもが減るということがどれについてもかわる。恵那市の子どもたちの健全な成長と、義務教育で力をいかにしっかり付けていくか御示唆いただき、市長部局と教育委員会とで共通理解を図りたい。

組織再編は細かい説明はまだだ。

4. 会議の公開について

■事務局 総合教育会議については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づいて設置されている。この中で、会議については公開とすることが原則とされているので公開とする。議事録も公開する。

5. 議題

（1）平成 29 年度予算における教育関連主要事業について【報告事項】

■事務局（進行） 議題に入る。（1）平成 29 年度予算における教育関連主要事業について。これから市議会に予算議案を上程する。その中から教育関連事業の主なところを

簡単に説明する。その後、教育委員会と市長とで意見交換をする。

主要事業に関して、各部長から簡単に説明をお願いしたい。

〔 各部長から資料に基づき説明 〕

■事務局（進行） 組織改編について。

〔 事務局から資料に基づき説明 〕

■事務局（進行） 市長から補足はあるか。

■市長 ない。

■事務局（進行） 意見交換に入る。この中のご意見や市長に聞きたいことがあれば。

■井口委員 来年度予算の主要事業の最後の、中学校施設改修事業。恵那東中学校。ここに大規模改造とある。上には改修とある。特別教室の配置換えも含めた改造なのか。塗装などをするだけの改造なのか。

■教育委員会事務局長 国の予算メニューが大規模改造という名称なので、改修事業は市の予算の中でも大規模改造という名称にしている。今までも各学校で順次大規模改造をやっているが、それと同じメニューで、雨漏りを直すとか外壁塗装とか床のサンダーがけ。配置換えということはない。

■井口委員 なぜ質問したかということ、私も恵那東中学校に最後3年勤めたが、図書室が使い勝手が悪い。職員室が2階にあり、その上にある。一番西の端にある。もう一つは、私がいた頃、大変荒れていて、保健室が職員室から遠く死角のようなところにある。グラウンドからは近いが。そういう、児童生徒を日常的に指導しやすく、児童生徒が活用しやすいということを含めて改造という言葉が使っているのかと思ったが、今の配置のままただ塗装や床、机や腰掛けを改めるならあまり意味がない。もっと現場の先生の意見を聞き、特に特別棟の配置について、保健室はどこになれば指導がしにくいとか。私の時代は保健室に1日20人も30人も来たが職員室と保健室が遠くて養教の先生が困り果てていた。

■教育委員会事務局長 たとえば壁の位置を変えとかそういうことではないので、教室の使い勝手については現場の先生に聴き検討したい。

■井口委員 これから2、30年使っていくので、そういうことも含めて。単なる部屋の模様替えならあまり意味がない。一般の人はいいかなという気はするが。コンピューター室はあまりいい場所ではない。現場の意見を聴いてやれば、大規模改造になると思う。

■教育委員会事務局長 コンピューター室はタブレット端末を使うので、教室でやるようになるので、それも現場の意見を聴き配置を考えたい。

■井口委員 組織図。教育委員会が5課になる。その課に課長が来られるのか。

■事務局 そうだ。

■井口委員 政策推進監、管理官などはどうなるのか。

■事務局 これは人事なので、今の段階では私の方からは分からないが、部次長というのを今度設置することは決まっている。今までの政策推進監が部次長になる。それを配置するかどうかだ。

■井口委員 せっかく教育委員会に戻していただくので、組織の改編、人事面も配慮していただくとより強固な推進ができる。

それからまちづくりが企画部が変わったが、推進部と企画部とでは何かやる内容が違ってくるのか。

■事務局 読んで字のごとくだが、「推進」は皆さんから分かりづらいということがあり、「企画」の方がよく分かって、部の下についている企画課と地域振興課を見れば分かるように、まちづくりと企画関係ということで、これを見ればこういう課があるということが分かるということでこうなっている。

■井口委員 今まで教育委員会の文化スポーツとか、社会教育、生涯学習が市長部局に行っていたので、推進という言葉が強調されたのかなと。それが教育委員会に来たので推進はもういい、企画だけでいいということになったのかなと勘づいた。市民の立場からいうと、企画になったり推進になったり、分からない。教育推進課をはじめ一般市民に分かりにくかったので分かりやすくしたということで、ぜひそうしてほしい。

■事務局（進行） ほかに。

■鎌田委員 組織再編の案は経営会議で決めるのか。

■市長 細かい内容は経営会議で協議したが、最終案は私が決めた。

■鎌田委員 再編するという方針を市長がお決めになって、細かいことは経営会議で。

■市長 細かい内容は経営会議でそれぞれの方から意見を聴いて判断した。

■鎌田委員 前年もそうなのか。

■市長 前年は分からない。

■村松委員 5 ページ、スポーツツーリング推進事業で、ボート・カヌー練習場施設整備というのは決定か。ロゴマーク募集はどうなっているか。

■まちづくり推進部長 3 月上旬までが募集期間で、タベも推進会議をやったところだ。誘致関係のチラシを今年度中に作るのを目標にしており、そこにロゴマークを入れたい。こちらで決めてもいいが、周知する手順としてマスコミにロゴマーク募集を取り上げていただく。多くの人に周知するきっかけとして募集している。最終的にロゴマークの入ったオリンピック誘致のチラシを 3 月末までに完成し、それで各国のボート・カヌーの選手団にプロモーションする活動をしたい。併せて、現地での施設整備も必要になるので、お金をかけないで何ができるか。とりあえず、ボートに乗り込むときの仮設の浮桟橋を整備する。浅いところが溪谷になっていて、今まで恵那高ボート部OBや実業団から、風もなく危険な橋脚もないので、非常に立地的にいいということなので、多くの方に訪れていただくようにこれからPRしていく。最低限の施設整備をすることが必要なので予算を計上する。今後の展開はどうなるか分からないが進めていく。

■市長 50 件ぐらいロゴマークの申し込みが来ているそう。まだ 50 件ぐらい来るらしい。

■村松委員 小中学生に配布されていた。

■市長 どこかの学校が全学年申し込むとか。

■まちづくり推進部長 まとめて提出される。

■村松委員 明知鉄道の列車カフェのネーミングも、子どもたちの発案で小学校5年生の子の案が通っている。そういうのを広げるとふるさと学習になるのでいいと思う。

■西尾委員 市長にお願いがある。市長は職員時代は主に商工観光系でご活躍だった。教育関係におられたかどうかは承知していない。市長は予算の執行ができる。大畑教育長が常々言っているが、教員というものは予算がなければ授業ができない。学校教育の予算である教員が不足しているのはゆゆしきことだと。小坂市長も、心を砕いていただけるとは思うが、昔小泉首相が米百俵の話をして国会でされたのが話題になったが、予算執行における学校教育の、教員を初めとする予算にもぜひ絶大な配慮をいただきたい。

教育委員会で私どもは教育委員を拝命しているが、どうしたら子どもたちの健全育成ができるか常々考えている。行政という枠の中では言いづらいことも言うし、行政では無理だということも承知で言うこともあるので、そこをすり合せしながらかじを取っていただきたい。

■市長 教育の分野は大事だと思っている。教育委員会のことがよく分かっていないかもしれないが、現実問題として今、人が減っている。何が原因かではなくて、郷土学習をもっとやってもらいたいと思っている。恵那を知ってもらうことで恵那で暮らしたい、もしくは恵那で働きたいと思ってもらえるのが基本だと思う。恵那のまちを存続させるのが使命だし、恵那のまちに若い人がたくさん来てくれることが大事だ。そのためには、食に関しても一生懸命やると選挙で申し上げたが、何よりも、子どものために何ができるかということは教育委員会で一生懸命取り組んでいただきたい。今回の組織改編でも表れているが、これまでは教育委員会と市長部局それぞれでやってきたものを、これからは一貫的に、小さなときから大人になるまでの教育としてやるべきで、その基礎は恵那市を知ってもらうことだと思う。文化や歴史を。それを一生懸命やっていただく中で、恵那に戻ってくる、もしくは恵那が好きになる子をたくさん育てたい。

■事務局（進行） せっかく総合教育会議なので、教育長から、意見交換のテーマがあれば。

■教育長 何か策を練っていききたい。一例として、中津高校が本校から教員を大勢輩出しようという校長の方針で数年間取り組んでみえて、教員志望の生徒を育てようとしている。今年も中津高校の先生が生徒を引率して、三郷小学校の英語活動を見て、すごく生徒たちが喜んで、ますます教員志望の気持ちが強くなったということだ。私たちのターゲットは恵那高校、恵那南高校、恵那農業高校の3校の校長と教員志望の学生を増やすことについて、平成29年度に話をしていきたい。地元で教員を集めたい、生徒を増やそうということをもちかけたい。周りが応援したり情報提供しないとそうはならない。

慢性的に教員が少ない。昔からだ。ただ学校が小さくなったから目立つようになった。地道な努力をしないと増えない。

■鎌田委員 市長が小中学校に行く機会は何？

■市長 最近でいうと、えなハヤシを岩村と東野でやっているという情報が入ったのでゲリラ的に行った。なるべく時間が空けば行こうと思う。

あとは、情報担当をやっていたのでその当時はよく行った。今回タブレットの端末を入れるが、最初にパソコンを入れたのが中央図書館だった。20年ぐらい前だ。

■井口委員 市長は東野小学校、恵那東中学校か？

■市長 はい。高校は恵那高校です。

■井口委員 東野小学校の同級生は何人か？

■市長 東野小学校は27人。うちの子どものときでも22、23人いた。ただ、このところの減少は激しい。

■井口委員 私が担任したとき37人いた。一番多い学級だったと思う。1クラスだ。

■事務局 出生数を集計した資料をお渡ししてあるので見てほしい。平成24年度からの出生数の推移がある。平成28年度は1月までの数。平成27年度と平成28年度の合計が昨年に比べて90人少ない。残りの2月、3月で埋めることはできない。人口は、平成24年度から10月1日現在で集計してある。どこでも減少しているが特に大きく減少しているところもある。私どもは人口減少対策チームなのでいろいろ策を打たないといけないと思っている。皆様方の力を借りたい。転出しないようにしたいし、郷土愛を持っていただき、大学から戻っていただく。18歳で転出して戻って来ない人は女性に特に多い。近くの女性には恵那市はいいところだと子どものときから教えてほしい。

■鎌田委員 恵那高が、今年度に限りということならいいが、ここのところ減というのがときどきある。恵那高の存在は、恵那市の中で憧れの学校でなければいけないと思うが、それが崩れると市外の私立高校に行ってしまうと、完全に気持ちが出てしまう。母校があれば、恵那市に思いが残ると思う。

■教育長 私が担任をやっていた頃は、「十五歳の春を泣かせるな」ということで、学力や適性を見て、保護者を含めて、進学指導をきつめにやっていた。今は受けたいところを受けるという風潮であり、夏場に行われる子どもたちが情報を得る場面、学校説明会やオープンキャンパス、学校見学等の中で、人気の出ている高校は、その辺でよく伝わって、子どもたちが行きたいと思う学校になっている。たとえば中津高校が人数があふれるぐらい人気があるのは、見に行くと面白そうだと。先生が一生懸命求めてくださるということと、そのときだけのコマーシャルではなく、1級、2級上の先輩からの情報が大きい。実際日常がいいということだ。そういうところで、アピールが足りないのかと思う。なので、一緒になって声を伝えながら、恵那高に来ていただくように働きかけようと思う。

■市長 市内には高等学校が3校あるので、何とか魅力あるところにして、市外から来てもらうようにしたい。

■教育長 県立の学校に市の立場でいろいろ言ったり連携を取るという意識がなかった。この2年ぐらいで、一気に、県から窓口を開けてくれて、地元の高校との連携ということと言われるようになり、やりやすくなった。市が高校の学校運営協議会的な立場になると思う。情報提供や、一緒に連携することをやっていかないとけない。

6. 閉会

■事務局（進行） これで閉じる。

〔 閉 会 〕